



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.948 2014年9月29日

アジア・太平洋電気通信共同体 (APT : Asia-Pacific Telecommunity)  
に設置された APT 無線グループ (AWG) の議長に  
当会の佐藤常務理事が選出

アジア・太平洋地域における IMT-Advanced 等無線システムの高度化及び普及促進に向けた検討・情報交換を行っている APT 無線グループ (AWG : APT Wireless Group) の第 17 回会合 (2014 年 9 月 23 日～26 日 ; 中国・マカオ) において、次会期の議長に、現副議長である電波産業会の佐藤孝平常務理事が選出されました。

本年 3 月にタイ・パタヤで開催された AWG 第 16 回会合の最終全体会合で、APT の山田事務総局長から、現 AWG 議長・副議長全員が本年 9 月で、二期の任期を満了するため、次回会合では AWG 議長・副議長の選任が議題として含められることと、推薦する候補者がいる主管庁は APT 事務総局長まで連絡することがアナウンスされました。

上記要請に基づいて、総務省は、8 月 15 日に APT 事務総局長宛てに、当会の佐藤常務理事を次会期の AWG 議長候補として推薦する旨の書簡を送付しました (AWG 入力文書:AWG-17/INP-05)。



右から順に、AWG 議長に選出された佐藤常務理事、  
中国・マカオの電信管理局・局長代理の Hoi Chi Leong 氏、山田・APT 事務総局長

AWG 第 17 回会合の最終日の全体会合で選任投票が行われましたが、議長への立候補者が一人であったため信任投票になり、当会の佐藤常務理事が満場一致で次会期の AWG 議長に選出されました。AWG 議長の任期は 2 年間（2014 年 10 月～2016 年 9 月）で、年 2 回開催される AWG 会合の運営全般を取り仕切ることとなります。

## ARIBからのお知らせ

### 第 126 回電波利用懇話会開催のお知らせ 「第 5 世代移動通信システムに関するアドホックの活動報告について －白書及び最新の動向－」

2020 and Beyond AdHoc は電波産業会の高度無線通信研究委員会傘下に 2013 年 9 月に設置され、2020 年以降における移動通信システム（第 5 世代移動通信システム）の概念及び基本構成に関する検討を行っています。本 AdHoc は、2020 年以降の移動通信システムのサービス及びシステム・コンセプトに関わる検討を行う、サービス&システムコンセプト WG (WG-SC) 及び 2020 年以降の移動通信システムにおいて必要となる適用技術の候補について予想される技術トレンドの調査・検討を行う、システム構成・無線アクセス技術 WG (WG-TECH) から構成されています。

本 AdHoc では、2020 年以降の移動通信に関する白書の作成を行っており、2014 年 9 月末頃の完成予定です。

今回の電波利用懇話会では、電波産業会 2020 and Beyond AdHoc 中村リーダー (NTT ドコモ)、松永サブリーダー (KDDI)、中村サブリーダー (富士通) をお迎えして、白書の概要及び第 5 世代移動通信システムの最新動向等についてご講演をいただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

#### 記

- 1 日 時 : 平成 26 年 10 月 31 日 (金) 14 時から 15 時 30 分まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室  
東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 11 階
- 3 題 名 : 「第 5 世代移動通信システムに関するアドホックの活動報告について  
－白書及び最新の動向－」
- 4 講 師 : 電波産業会 2020 and Beyond AdHoc リーダ 中村 武宏様 (NTT ドコモ)  
サブリーダー 松永 彰様 (KDDI)  
サブリーダー 中村 隆治様 (富士通)
- 5 対 象 : ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参 加 者 : 60 名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申 込 先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参 加 費 : 無料

9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道 まで

TEL: 03-5510-8592 E-mail: [arib-seminar2014@arib.or.jp](mailto:arib-seminar2014@arib.or.jp)

## ロボット用電波利用システム調査研究会への参加募集について

東日本大震災における福島県原発事故を契機として、また、近年の多発する災害対策を踏まえ、人が入りづらい場所などにおいて、遠隔操作で制御等を受けるロボット等(災害対応ロボット、無人化施工作业、無人航空機やラジコンなどを含む。)を活用し、円滑かつ迅速な業務の遂行を目指すロボット等の研究開発が進められています。

従来も、建設現場等における無人化施工作业やラジコン模型飛行機等を利用した農薬散布作業又は空撮作業などが行われてきたところですが、昨今、災害対策以外にも各種施設の監視・点検等新たなビジネス産業の創出に向けた検討が始まっており、今後、様々な場面で、各種用途のロボット等による遠隔操作や画像伝送等に対する無線通信ニーズが高まりつつあります。

これらのロボット等に関する各種利用環境を踏まえ、具体的な電波利用ニーズを把握するとともに、必要な通信の確保に向けた技術的検討、周波数共有の可能性などの検討を行う必要が出てきました。

つきましては、本ARIBニュース掲載の「第 21 回書面表決による技術委員会を開催」の結果に基づき、ロボット用電波利用システム調査研究会を設置することとし、ARIB正会員に対して平成 26 年 10 月 24 日まで参加募集をすることになりましたので、お知らせいたします。

### ARIBの動き

## 第 31 回 XGP フォーラム定期年次総会を開催

9 月 17 日 (水)、台湾の新竹にあるシェラトンホテルにおいて、「第 31 回 XGP フォーラム定期年次総会」が開催され、来賓も含めて 19 社から 25 名の参加者がありました。



第 31 回 XGP フォーラム定期年次総会の様子

新竹は台北から車で西南1時間弱に位置し、地元の優良大学と融合した産業推進の国家政策の拠点であり、日本をはじめ、多くの企業が進出しており、最近ではウェアラブル機器のメッカとなりつつあります。

XGPフォーラムの総会では、まずは前田議長（TTC専務理事）から開催の宣言がありました。その後、役員の変更が行われ、電波産業会の松井専務理事が副議長に、またPWG（Promotion Working Group）では新たに京セラ吉川氏が議長に、さらにはWireless City Planning株式会社の巖城氏が副事務局長に就任しました。松井新副議長の就任挨拶後、GTI（Global TD-LTE Initiative）の事務局長である黄宇紅氏よりLTE TDD/FDD技術融合等に関するキーノートスピーチ、中国のTD産業連盟の副事務局長である金毅敦氏より中国TD-LTE技術の最新動向に関して、そして台湾工業技術研究院の技術責任者謝慶堂氏よりITRI（Industrial Technology Research Institute）の紹介および5Gコラボレーションに関するプレゼンが行われました。

また、XGPフォーラム会員メンバーである台湾の大衆電信（FITELE）のCTO林榮曾氏からは、大衆電信の最新動向に関して興味深いプレゼンがありました。

総会では、2013年度事業報告、新加入メンバー（ヴィーナス&マーキュリーテレコムBVとロケーション株式会社）の紹介、2014年度事業計画などの説明と承認が行われました。WGからはXGPフォーラムWebサイトアクセス状況（2013年7月～2014年6月）報告等がありました。また今期の活動予定や予算に関しての提案がありました。全ての議案は全会一致にて承認されました。

また、定期総会の前日には、GTIと台湾工業技術研究院が主催でモバイルブロードバンド発展サミットが同時に開催され、XGPフォーラムは共同開催者となっております。世界各国から約500名が参加したGTIサミットは台湾や中国の政府関係者、中国移动、中華電信、遠傳電信、ソフトバンク、Sprint等の役員クラスの来賓の挨拶が行われ、XGPフォーラムの前田議長からは「日本TDDモバイルブロードバンドの動向と現状」というプレゼンテーションが行われました。



GTI サミットの様子

会場とその周辺地域では、中華電信、遠傳電信等、FDDオペレータがBand3 (1.8GHzのFDDバンド) およびBand41 (2.6GHz帯のTDDバンド) に基づき、LTE TDD/ FDDデュアルトリアルネットワークを構築し、TD-LTEの高速データ伝送、TDD / FDD双方向シームレスハンドオーバー技術などを実証しました。XGPフォーラムのメンバーである台湾大衆電信もXGPのスローガンを掲げ、記者会見を開き、XGP技術をアピールしておりました。



左から、佐藤 BWG 議長、松井新副議長、前田議長、杉浦事務局長



台湾 TDD オペレータ大衆電信のブース

なお、詳細は XGP フォーラムの Web サイト <http://www.xgpforum.com> に掲載されていますのでご覧ください。

## 第 220 回技術委員会（放送分野）を開催

第 220 回技術委員会（放送分野）を開催しましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 日時 平成 26 年 9 月 24 日（水） 午後 3 時 30 分から 4 時 50 分まで
- 2 場所 当会第 2 会議室
- 3 議事概要
  - (1) ISDB-T インターナショナルフォーラム技術会合及び SET EXPO2014 について
  - (2) 第 92 回規格会議の結果について
  - (3) 第 93 回規格会議の開催について
  - (4) GSC 第 18 回会合の概要について
  - (5) CEATEC JAPAN 2014 での ARIB 出展について
  - (6) ロボット用電波利用システム調査研究会の設置について
  - (7) コスタリカでの「地デジ (ISDB-T) フォーラム」の開催について
  - (8) ARIB-DVB 会合について
  - (9) その他

## 第 21 回書面表決による技術委員会を開催

第 21 回書面表決による技術委員会を開催しましたので、その表決結果をお知らせします。

- 1 日時 平成 26 年 9 月 12 日（金）から 9 月 26 日（金）まで
- 2 議題 「ロボット用電波利用システム調査研究会」の設置について
- 3 結果 提案通り決定されました。

## 今週の ARIB 内会合（9 月 29 日～10 月 3 日）

- 9 月 29 日（月）：品質評価法調査研究会 評価シーケンス作業班  
高度無線通信研究委員会 2020 and Beyond AdHoc
- 9 月 30 日（火）：第 5 世代モバイル推進フォーラム設立総会・設立記念式典  
デジタル放送システム開発部会 地上デジタル放送伝送路符号化作業班  
デジタル放送システム開発部会 デジタル受信機 ダウンロード TG
- 10 月 1 日（水）：デジタル放送システム開発部会 超高精細度 TV 放送受信機 TG  
放送国際標準化ワーキンググループ WG/SWG 合同会合  
高度無線通信研究委員会 標準化部会
- 10 月 2 日（木）：第 93 回規格会議
- 10 月 3 日（金）：第 125 回電波利用懇話会  
「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針について」

## 今週の国際会合（9 月 29 日～10 月 3 日）

開催を予定している会合はありません。

## 総務省からのお知らせ

### 第 5 世代移動通信システムに関する国際ワークショップ 10 月 8 日開催

ARIB ニュース No.939 で既にお知らせしましたが、CEATEC JAPAN 2014 において、第 5 世代移動通信システムに関する国際ワークショップが、以下のとおり開催されます。

本国際ワークショップは、第 5 世代移動通信システムの調査研究を目的とする「第 5 世代モバイル推進フォーラム（仮称）」の設立（本年 9 月 30 日（火）に予定）に合わせ、同フォー

ラム活動の最初の大きなイベントとして開催されます。

将来の携帯電話やアプリケーションについて、海外からの講演者がどのように語るのか期待されます。

残席が少なくなってきましたので、参加ご希望の方は早めのご登録をお願いいたします。

#### 1 ワークショップ名：セッション番号 SP2-02

INTERNATIONAL WORKSHOP on 5G Mobile Communication System-2014

(第5世代移動通信システム国際ワークショップ2014)

#### 2 ワークショップ概要

2020年以降を目標とする第5世代移動通信システムに関し、世界各地で調査研究活動が活発に行われています。本ワークショップでは、本活動を積極的に行っている日本、欧州、中国、韓国の団体の代表及び国際標準化機関のITU-Rからの代表が一堂に会し、プレゼンテーション及びパネルディスカッションを行います。

#### 3 主催 総務省

#### 4 開催日時

2014年10月8日(水) 14:00-17:30 13:45 入場開始予定

#### 5 開催場所

幕張メッセ 国際会議場2階 「コンベンションホールA」

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

#### 6 定員 約500名(シアター形式)

#### 7 聴講料 無料

#### 8 参加申込方法

次のCEATECサイトから、参加申込みをお願いします。

事前登録及びセッション参加登録が必要となります。

<http://www.ceatec.com/ja/registration.html>

#### 9 プログラム

本ワークショップのプログラム等は、以下のARIBホームページ内に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

[第5世代移動通信システム国際ワークショップ2014](#)

なお、当日は英日同時通訳が行われます。

#### 10 問合せ先

本ワークショップ記事に関する問い合わせ先は、次のとおりです。

ARIB 研究開発本部 移動通信グループ

近田守也 TEL: 03-5510-8594 E-mail: [workshop-5g-2014@arib.or.jp](mailto:workshop-5g-2014@arib.or.jp)

《 注目のICT技術者資格へチャレンジ 》  
第19回 モバイルシステム技術検定

検定試験はモバイルシステム構築に必要なワイヤレスデータ通信、モバイル情報端末、アプリケーション、セキュリティ、コンテンツ、M2M など構成する要素技術の理解度を計ります。システムエンジニア、コンサルタント、営業SEなどモバイルシステムで活躍を目指す方々には必須資格となります。

MCPC モバイルシステム検定は、既に53,000人以上の方が受験されています(2014年7月末現在)。また、多くの企業からは「取得推進資格」として認定をいただき、業界標準資格として位置づけられております。

皆様の挑戦を期待しております。

【実施日時】 2014年11月8日(土) 9:50~11:30

【開催場所】 札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡、さいたま、金沢、高松

【受検料】 一般 15,100円(税込)、協力団体 12,900円(税込)

※ARIB会員各社は、協力団体料金となります。

【申込期間】 2014年9月1日(月)~10月10日(金)

◆お申込みはWebから!

[http://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei\\_msg/index.html](http://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei_msg/index.html)

モバイルソリューションを推進する  
**MCPC** モバイルコンピューティング推進コンソーシアム  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階  
<http://www.mcpc-jp.org/>

検定・講習会のお問合せは  
**MCPC検定事務局** TEL.03-5401-1735  
FAX.03-5401-1937  
e-mail:msec@mcpc-jp.org

編集後記

早いもので2014年度の上期が終わり今週から下期に移ります。

この半年のARIBニュースでは、定時総会、理事会、電波功績賞の報告をはじめ、日中韓情報通信標準化会議(CJK)、APT無線グループ会合、世界電気通信協調会議(GSC)等の国際会合の概要、電波の日記念講演会、周波数資源シンポジウム、ARIB/TTC共催セミナー、電波利用懇話会の様子をお伝えしてきました。

また、モルディブとスリランカにおける地上デジタルテレビ放送日本方式の採用決定のニュース、総務省・メーカー社長懇談会、NICTとARIBの連携・協力推進に関する連絡会、規格会議、業務委員会、技術委員会、調査統計小委員会の報告、そして標準規格等のWebサイトでの提供状況、照会相談業務の状況等の記事を掲載してきました。

下期も盛り沢山の内容をお伝えしていく予定です。よろしくお願いたします。(T.K.)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib\_news@arib.or.jp